

福岡教区今年度の目標…「信仰の伝達」

小教区今年度のテーマ…「学び、伝えよう、家庭から私たちの信仰を」

いつくしみの特別聖年を迎えて



主任司祭 遠山満

ルター派の神学者であるフリードリヒ・フォン・ボーデンシュピングが、次のような言葉を残しています。「憐れみのない正義に愛はなく、正義のない憐れみは汚れている」。いつくしみの特別聖年を迎えた私たちは、この一年、このことを黙想するように致しましょう。

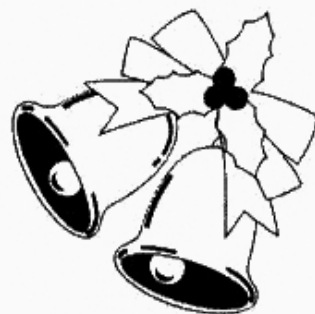
旧約聖書の中に現れている正義の価値観は、「目には目を、歯には歯を」(出エジプト記21・24、レビ記24・20、申命記19・21)です。時々私たちは、この法を復讐法と考えがちですが、実はそうではなく、相手から受けた損害に対して、過剰な償いを求めないように戒めた掟です。例えば、誰かと喧嘩になって一言、相手が言ってきたのに対して、私たちは感情的になって、二言三言、言い返してしまいがちです。この掟は、それを戒めています。つまり、相手から受けた損害以上に償いを求めてはならないということです。この考え方は、現代の法律の世界でも取り入れられています。現代の法律の世界は、罪刑法定主義と言われます。つまり、罪に対して刑罰が法律で定められています。それは、罪に対する過剰な償いを、罪を犯した人に課さない為です。この考え方は、現代世界を包んでいます。

しかし、私たちは、現代世界が、この考え方だけでは立ちいかなくなっているのを経験しています。イラクやシリアとの関わりで繰り返されているテロ事件と、それに対する報復としての空爆は、先の考え方の限界を示しています。

この限界を破る為、イエス様は、この世界に来て下さいました。イエス様は言われます。「敵を愛し、あなた方を迫害する者のために祈りなさい」(マタイ5・44)。イエス様は、この言葉を、ご自分の生き方を通して示して下さいました。特に、十字架上で迫害する人々の為、その言葉を私たちは忘れることができません。「父よ、彼らをお赦し下さい。彼らは自分が何をしているのか、分からないのです」(ルカ23・34)。

神様は正義といつくしみ、双方をお持ちの方です。しかし、神様のいつくしみは、私たちの思いを遥かに超えています。そのいつくしみを、この一年皆で黙想してまいりましょう。

カトリック笹丘教会 拡大信者会議事録



開催日時：2015年12月6日（日）11:30～12:10

開催場所：信徒会館

司会：川原

書記：牧山

祈り—始めの祈り

1. クリスマスについて

(1) ミサの時間

12/24（木）午後6時 午後8時半

12/25（金）午前10時

ミサ後に、暖かい飲み物を準備する。ミサ後に配るクリスマスプレゼントを500個用意する。準備作業を12/19（土）午後2時から行う。

(2) 黙想会・共同回心式

12/20（日）午前9時半～午後1時※詳細はお知らせを参照 8時のミサは無い。

(3) クリスマスバザー

12/13（日）10時ミサ後

食堂メニューは、おにぎりサンド、ぜんざい、豚汁、チキン。豚汁は前日午後1時から準備開始。当日は午前8時に集合し準備に当たる。喫茶コーナーと綿菓子青年達に依頼する。生リース作りに協力を。



2. 新成人祝福ミサについて

名簿上の対象者は14名（その内双子が2組）。対象者には先週往復はがきを出し、1/3（日）か1/10（日）いずれかに参加するよう案内している。新成人にミサでの朗読奉仕をお願いしてはどうかとの意見あり。ミサ後は茶話会を設け、彼らが生まれた時の出来事を紹介する等してはどうかと考えている。記念品（クリスタルの置き物）を用意済み。

3. 新年会について

1/17（日）10時のミサ後に行う。詳細は役員会（12/19午後4時）で検討する。

出し物候補：白壁さんによるクイズ、川上さんによるハーモニカ演奏。

4. その他

- ・いつくしみの特別聖年のための祈りの冊子を来週配布する。
- ・防災訓練を来年2/7（日）ミサ後に予定する。計画書の提出や役割分担などの検討が必要。
- ・1月の拡大信者会はお休みする。

祈り—待降節の祈り

七・五・三

11月15日 七五三祝福式が行われた。将来の七五三の小さな子どもたちもプレゼントに大喜び！！



神様の子どもとして、健やかに成長しますように。子どもたちは教会の宝物です。



「メダイ」と「千歳あめ」をもらって大喜び。



アンナ・ヨアキム

12月4日の今年最後のアンナ・ヨアキムの会はクリスマスパーティーでした。初めての方も四名参加で、おいしい食事と手作りのケーキ。楽しいクリスマス会でした。プレゼントもいただきました。ひと足早いイエス様の誕生会。



スライド「クリスマスのおくりもの」で本当のクリスマスを分かち合いました。

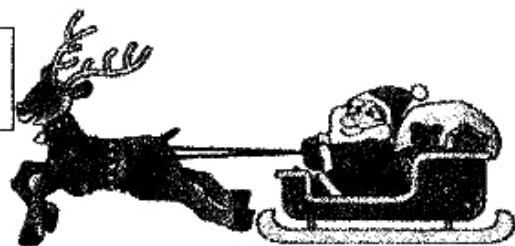
教会学校クリスマス会



12月6日 日曜学校のクリスマスパーティーが行われました。クイズやゲーム、プレゼント交換で盛り上がり、子供たちには教会での楽しい思い出がもうひとつ増えました。神父様、神学生、スタッフのみなさんありがとうございました。さて、イエス様へのプレゼントもお忘れなく。



みんながプレゼント
待ってるよ 急ごう!!





信仰のルーツ コーナー

ペトロ 藤渕邦大

小倉教会を初めて訪れたのが25年前。早いもので四半世紀になります。人生の半分以上を信者として過ごしていることを考えると、軽いショックを覚えます。

聖書の言葉に興味を持ち、それ自体は素晴らしいものだと考えていた学生時代、一人の司祭がまさにその言葉通りの生き方を貫き通したことを知り、大きなショックを受けました。アウシュビツで身代わりの餓死刑を受けた、聖コルベです。それまで、聖書の世界は遠い遠い過去のもので、現代に生きる私にとっては理想でしかありませんでした。言ってることは素晴らしいけど、いまその通りに生きるのは馬鹿げたことじゃないのかと。ところが、聖コルベの殉教はたかだか数十年前の出来事でした。ほとんど現代です。

どういう偶然かわかりませんが、学生時代の同級生がカトリックの洗礼を受けていました。信者の寮母さんの影響を受け、聖コルベの霊名で受洗していました。ミサに誘われ、一も二もなく同行し、それから多くの方々に出会い、洗礼を受けさせていただきました。

初心忘るべからず、といます。聖コルベのように、生き方そのもので多くの人にキリストの教えを伝える人になる、大それた望みのようですが、たった一人の人でもその人の心を神様に方向づけることができたら、うれしいものです。

ある年末、会社の同僚から、「あなたを見て、キリスト教のイメージが変わった」と言われました。あまりにも酒の席を重視する（例えば呑み会の日に当番が回ってきたら、酒を飲まない後輩に代わってもらう）から、だそうです。ストイックなイメージを持っていたのでしょう。いやいやそればかりではないのが教会ですよと説明すると、「それにしてもあなたは呑み過ぎだと思う」と言われてしまいました。反省し、これからも一人でも多くの人を神様の元に差し向けることができるよう、がんばろうと思います。





編集後記

教会ニュースの記事のために、初めて教会学校の行事、クリスマス会を見た。バイキング形式で手作りサンドイッチ、ケーキ、飲み物が準備されていた。子どもたちは順番に落ち着いて欲張らず自分のお皿にとっていた。食べるのが終われば、なぞなぞ大会。小さなお友達が、大人でもすぐに考えつかない答えを見事当てていた。次はゲーム。輪になって、おとなりのお友達の指を握るゲーム。握るの嫌だといっていたお友達もいた。次は、なんでもバスケットと言うゲーム。椅子を一人分少なくして、座れない人が言った条件、例えば、「黒い靴下を履いている人」と言ったら、当てはまる人は立って別の席に移動する。なかなか席を確保できなくて、10数人の輪の真ん中で何か言わなきゃいけないプレッシャーからか、泣き出しそうになったお友達もいた。みんな違ってみんないい。神様とともに歩んでいるのだからなんにも心配いらぬね。メリークリスマス！！(J.N)

